

選択式回答（5段階評価）

全体的傾向（大学全体の平均値）

授業内容に関わる設問は、下記の7項目である。

- ①授業全体の目標は明確でしたか【目標の明確さ】
- ②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか【教員の意欲】
- ③この授業では、教材などの事前準備がしっかり行われていましたか【準備の周到さ】
- ④教員の話し方は明確で聞き取りやすいと思いましたが【明確な話し方】
- ⑤この授業は、学習しやすい環境が保たれていましたか【環境の整備】
- ⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか【学習意欲の喚起】
- ⑦この授業を受講して満足しましたか【総合満足度】

大学全体での講義に対する【総合満足度】の平均値は、4.37であり、受講生の講義に対する満足度は比較的高いものと推察される。これは、昨年度前期の同平均値と比較して若干の伸びをみせている。

また、他の評価項目に対する回答の平均値も、全ての学科において4.0を上回っており、このことからアンケートに回答した受講生諸君は、講義内容に対して概ね高い評価を与えているものと考えられるだろう。

学部・学科別傾向（授業担当者の所属学科別平均値）

経済学部

【総合満足度】について、経済学部ではその回答の平均値が経済学科4.24、経営学科4.25と比較的高い満足度を示しているが、大学全体の総合満足度の平均値4.37には若干及ばなく、他の学科の同平均値と比較しても低い結果となった。しかし、昨年度前期の両学科それぞれの同平均値と比較すると、両学科ともにこれを上回っている。

また、【学習意欲の喚起】への回答では、その平均値が経済学科4.11、経営学科4.13と、大学全体での平均値4.26より低い結果となっているとともに、他学科と比較しても両学科ともに低くなっている。これは、経済学部のカリキュラムの内容の問題であるのか、経済学部所属の学生諸君の学習意欲の質の問題であるのか、さらなる調査・分析が必要であると思われる。

福祉社会学部

【総合満足度】について、福祉社会学部ではその回答の平均値が社会福祉学科4.41、児童学科4.45と、受講生の高い満足度を示しており、大学全体の同平均値4.37を両学科ともに上回っている。講義に対する満足度の高さが、うかがわれる。児童学科のこの平均値は、国際文化学部の国際文化学科と並んで本学の最高の値である。

しかし、昨年度前期の結果では、全ての質問項目について大学全体での平均値を両学科ともに上回っていたのに対し、社会福祉学科において【目標の明確さ】、【教員の意欲】、および【準備の周到さ】への回答の平均値が大学全体での平均値を下回っていることが気にかかる。

国際文化学部

【総合満足度】について、国際文化学部ではその回答の平均値が国際文化学科 4.45、音楽学科 4.40 と両学科ともに受講者の高い満足度を示している。また、両学科ともに、大学全体の平均値 4.37 を上回っており、講義に対する満足度の高さがみてとれる。国際文化学科のこの平均値は、福祉社会学部の児童学科と並んで本学の最高の値である。

ただし、全ての質問項目に対して、回答の平均値で高い評価を得ている一方で、昨年度前期と比較すると、国際文化学科では【環境の整備】および【学習意欲の喚起】、音楽学科では【準備の周到さ】、【明瞭な話し方】、【学習意欲の喚起】、および【総合満足度】が昨年度前期の平均値を下回っている。

自由記述式回答

(1) 「良い点」(全体傾向)

①授業準備・開始段階での配慮

授業の始まりに簡潔な復習をする／学生一人一人の理解度をチェックしつつ授業が進行される／試験準備・予習課題等の提示がある／予習プリントの間違ったところに赤ペンでコメントが添えられているので理解力が高まる

②教材等に関する配慮

多面的思考力を養うための資料が豊富に準備されている／興味深い動画が活用される／パワーポイントが理解しやすい／授業プリントが穴埋め式で分かりやすい／宿題があることによって授業の内容を復習することができ、次の授業でスムーズに入ることができる／パワーポイントの内容がプリントとして配布されるので、復習する時に役に立つ

③授業内容・形態に関する配慮

先生と SA による丁寧な学修支援がある／外部講師による講義がある／グループワークによるディスカッションを導入している／グループワークによるコミュニケーション力の育成や積極的な授業参加の機会がある／小テストを反復して行う

④学生との接し方、話し方に関する配慮

先生の情熱が伝わる講義がされている／個別に丁寧な指導がある／質問しやすい環境づくりがされている／意見・質問に丁寧に対応している／アクティブラーニングであったため他の履修者とコミュニケーションをとることが新鮮に感じた間違ったところに対する個別指導がある／レポートの返却時には一人ひとりにコメントが記載されている

(2) 「改善を要する点」

①授業計画の不明瞭さ、授業準備の不足

シラバスからの逸脱がある／授業内容の説明が回りくどいため何が大事なのか分かりづらい／授業の目的が明確でない／先生の話していた内容と教材の内容が一致していない／教科書を購入させているのに使っていない／授業時間が短いので 90 分しっかりやって欲しい／シラバスではレポートと記載してあるのに筆記試験だった／何について学んでいるのか講義を通しての目標が全くわからない

②話の聞き取りづらさ

声が聞き取りづらい／マイクの音量調整をしっかりと行って欲しい／声が小さい／教員がスピーカーとマイクを使用しておらず、話している内容が聞き取れない

③授業内容の分かりづらさ

授業でやっている所が飛び飛びになるので分からなくなる／説明が中途半端でどういうことかわからない／ワンマン授業となっている／学生の理解を確認せずに授業を進めている／専門用語の連続使用により途中から何を言っているのか分からなくなる／専門的な用語についてそれぞれに軽く解説を入れて欲しい

④板書、スライド等の見づらさ

板書の字が汚くて見づらい／スライドの文字が青や赤、緑、紫などたくさん色を使い過ぎるため、結局どこが大事なのがわかりにくい／スライドを見せる時間が短いためノートに書き込めないことが多かった

⑤学生への対応

私語を放置せず注意して欲しい／留学生のおしゃべりが目立つ／学生に出席スキャナーを回させることで不正に出席記録する学生がいるので出席確認を厳しくして欲しい／自分たちにあったレベルでの授業をして欲しい／テスト中の答案の回し読み、スマホの閲覧などのカンニングを注意して欲しい

⑥教員の態度について

授業に遅刻してくる／授業と関係ない話が多い／気に入った学生には良い評価を与えているところは改善して欲しい／受講学生は全然理解してないのに改善しようとしな

⑦その他

遅刻や出席については評価には加味しないとの発言があったが、最終講義間際には評価の判断材料にすると言っていた／時間内に授業が終わらないことがあった／時間内に終わらせようとするため後半は早口になるので理解しにくい／課題が多すぎる

【自由記述項目の総括】

2019年前期の期末授業アンケートの自由記述から汲み取ることができる「よい授業」の条件と授業改善の要点は、概ね以下のとおりである。

第一に、授業の目的・ねらいがはっきりとしていること。教員が「何のために教えるのか」「どんな力を学生につけさせるのか」といったことを明確に定め、学生に対しては「何のために学ぶのか」「どんな力をつけることが目標とされているのか」ということを丁寧に伝えることが重要である。そのためには、担当する科目が各学科のディプロマ・ポリシーに照らしてカリキュラムマップのどこに位置づくのかを確認し、絶えず検証する努力が欠かせない。

第二に、学生の目標達成を保障する授業の計画。目標達成に相応しい教材の準備や開発、指導方法の改善や確立はもちろん、予習や復習といった授業外学習の内容を具体的に明示することも大切になっている。

第三に、学生とのコミュニケーションを確保すること。教室の規模に関わらず、授業中に学生からの意見や質問に対して丁寧なコメントを返却することが学習意欲の喚起につながっている。それぞれの授業に応じたかたちで、学生との意思疎通の機会をもつことが望ましい。

第四に、グループワーク形式の導入。多くの学生が学生同士のコミュニケーションを通じた学びを肯定的に受け止めている。グループワーク等の導入が可能な授業においては、積極的な導入が望ましい。

第五に、公平かつ快適な学習環境の維持。私語やスマートフォンの使用に対しては厳しく対応し、出席管理は厳格に行うべきである。

その他、学生の改善要望からは、見やすい板書を心掛け、視聴覚教材（パワーポイントや映像教材）を適切に使用することも重要であることがわかる。授業内容を学生に理解させるための効果的な方法について、より意識的になるべきであろう。

最後に、各教員は次年度の担当授業をより良いものにするために履修学生から寄せられたコメントを大切に、傾聴すべき声には敬意をもって対応していくべきである。また、教員相互の授業参観で見聞した教授方法等を参考に、参観した授業に対するコメントも授業改善に役立てていくべきである。

2019年度前期授業アンケート集計表 (授業担当者の所属別平均値)							
設問	大学全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.45	4.33	4.37	4.43	4.53	4.51	4.49
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.56	4.43	4.46	4.55	4.64	4.67	4.69
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.59	4.46	4.50	4.57	4.65	4.69	4.72
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思われましたか	4.39	4.26	4.31	4.42	4.45	4.49	4.51
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.45	4.31	4.37	4.46	4.53	4.51	4.57
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.26	4.11	4.13	4.30	4.35	4.35	4.30
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.37	4.24	4.25	4.41	4.45	4.45	4.40
※5段階評価の平均値 (5:そう思う 4:どちらかといえばそう思う 3:どちらとも言えない 2:どちらかと言えばそう思わない 1:そうは思わない)							
2018年度前期授業アンケート集計表 (授業担当者の所属別平均値)							
設問	大学全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部	
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.43	4.15	4.32	4.49	4.61	4.49	4.82
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.55	4.29	4.45	4.57	4.69	4.63	4.84
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.56	4.22	4.50	4.62	4.68	4.66	4.82
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思われましたか	4.38	4.05	4.21	4.47	4.60	4.46	4.88
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.45	4.10	4.28	4.51	4.63	4.53	4.87
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.25	3.91	4.08	4.36	4.51	4.38	4.77
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.36	4.04	4.23	4.48	4.59	4.44	4.79